

連雲港墟溝港区第一期建設事業



連雲港

借款概要

| | |
|---------|---------------------|
| 承諾額/実行額 | 5,900百万円 / 4,898百万円 |
| 借款契約調印 | 1992年10月 |
| 借款契約条件 | 金利2.6%、返済30年(据置10年) |
| 貸付完了 | 1997年11月 |

事業概要

同国の経済発展に伴い急増する一般雑貨等の需要に対応するため、江蘇省連雲港に1.5万トン級船舶を対象とするバース（合計取扱能力210万トン/年）を建設するもの。

評価結果

貨物取扱実績は完成後順調に当初目標を上回っている。取扱品目は雑貨（軽工業製品、医療品、農林漁業産物など）のほか、非金属鉱石、石炭、塩等が多い。

連雲港は江蘇省・河南省・山東省などの後背圏に広範囲にわたり貨物の搬入・搬出先を有しており、鉄道を主体とする交通網の整備を背景として、本事業での同港整備が後背圏の発展に一定の寄与をしたと推察される。

維持管理は連雲港港務局傘下の第四港務公司が行なっており、同公司は港務局の他部門や工場から人材を転配するなど体制整備に努めているところである。

現状の収益性から見ると、投資額を回収するには長期を要すると思われるが、今後も貨物取扱量が順調に推移すれば経済性は向上し、持続性が保たれると見込まれる。